

平成29年度

事業報告書

自：平成29年 4月 1日

至：平成30年 3月31日

宮城県仙台市泉区上谷刈字向原3番地の30

社会福祉法人 やまとみらい福祉会
理事長 早坂 了悦

本部 事業実績報告

【はじめに】

社会福祉事業、社会福祉行政、さらに社会福祉法人制度等、わが国社会福祉の基本的事項を定めた社会福祉法の改正法案が平成 27 年 3 月 31 日に成立し、平成 29 年 4 月 1 日より、施行されています。

主な改正内容は、以下のとおり。

① 社会福祉法人制度の改革

- ・経営組織のガバナンスの強化 → 議決機関としての評議員会を必置等
- ・事業運営の透明性の向上→財務諸表、現況報告書等の公表にかかる規定の整備等
- ・財務規律の強化（適正かつ公正な支出管理等） → 役員報酬基準の作成と公表等
- ・地域における公益的な取り組みを実施する責務 → 社会福祉事業及び公益事業を行ない、無料または低額な料金で福祉サービスを提供することを責務として規定

② 福祉人材の確保の促進

- ・福祉人材センターの機能強化 → 離職した介護福祉士の届け出制度の創設、就業の促進、ハローワークとの連携強化等
- ・介護福祉士の国家資格取得方法の見直しによる資質の向上等 → 養成施設卒業者への国家試験の義務付け

特別養護老人ホームの入居条件の厳格化（要介護 3 以上、2 割負担の導入など）、介護報酬の切り下げ、一方における介護予防・日常生活支援総合事業の新設「地域包括ケアシステムの構築」という状況にあつて、それに対応した高齢者福祉サービス事業、障害福祉サービス事業、児童福祉事業（保育）の具体の転換と事業運営体制の見直し・統制が求められており、地域貢献・公益活動の推進が課題化されています。

こうした背景下、平成 29 年度事業計画の基本方針として、私たちは次の 2 点を掲げて事業に取り組みました。

第 1 は、地域社会において必要な存在として、『挑戦型社会福祉法人』へのチャレンジ。第 2 は、業務の仕事の質を上げ、効率的効果的な業務体制の構築と持続的展開です。こうしたことから平成 30 年 4 月より、予てより計画していた地域密着型特養 抱優館南光台東がスタートしました。

- ① 地域連携、公益的取組みについては、ケアプランセンター抱優をはじめ、地域ケアネットワークの一員として実績を上げつつあります。地域包括支援センターと連携し、認知症カフェの開催場所の施設会議室の提供と参加。また情報交換・交流等を行っております。障害者支援や生活困窮者支援にあたっては、オルタ八乙女の運営と抱優館八乙女での職業体験実習の受入れや実習訓練事業の委託を引き続き行いました。職員研修においては、地域課題への取り組みを福祉職の大事な課題として繰り返し意識付けしました。
- ② 人材育成と業務連携体制の構築を意識的に迫ってきました。年 2 回の職員面談と個々の目標設定でスキルアップの方向付けと必要と思う内外研修への受講を勧めました。
- ③ コンプライアンス（法令等の遵守）の実施に努めました。
- ④ ディスクロージャー（情報公開）については、ホームページにおいて実施事業や折々の行事の報告と共に決算・事業報告、現況報告等基本情報の公開を行い、公正明快な親しまれる法人を目指しました。

- ⑤ インフォームド・コーポレーション（説明と協力）については、自己決定と尊重を基本にご家族アンケートや懇談会、日々のご本人の様子や疾病や事故発生時の対応等の丁寧な説明とご協力に努めました。
- ⑥ 個人の尊重と個人情報保護は、福祉事業運営の基本です。援助職にふさわしい人間性と基本的な点検を研修や委員会活動において培いました。また必要なマニュアルの点検・作成を行っております。

[社会福祉法人やまとみらい福社会運営事業]

平成 29 年度に実施した運営事業は以下のとおり。

- ・ 第 1 種社会福祉事業
特別養護老人ホーム抱優館八乙女(長期入所事業)
- ・ 第 2 種社会福祉事業
特別養護老人ホーム抱優館八乙女((介護予防)短期入所生活介護事業)
やまとみらい八乙女保育園(小規模保育事業)
就労移行支援事業所オルタ八乙女(障害福祉サービス)
- ・ 公益事業
ケアプランセンター抱優(居宅介護支援事業)

[各種外部研修・行政等主催研修参加状況]

日時	研修名	参加者	主催
H29.4.14	外国人技能実習の適切な実施及び技能実習生の保護に関する法律についての勉強会	総務課長	日越介護人材育成研究会
H29.6.27	情報発信力セミナー	本部職員	株式会社マイナビ
H29.6.29	平成 29 年度 宮城県社会福祉法人経営者協議会総会・研修会	総務課長	宮城県社会福祉法人経営者協議会
H29.7.7	社会福祉事務経営実務・開設セミナー	総務課長	独立行政法人福祉医療機構
H29.8.10	労働災害・長時間労働・メンタルヘルスと労災保険	本部職員	仙台市雇用労働相談センター
H29.8.23	平成 29 年度 仙台市社会福祉法人・施設職員研修事業 会計担当職員研修	本部職員	仙台市社会福祉協議会
H29.9.12	社会福祉法人経営セミナー	本部職員	リコージャパン
H29.9.26	雇用管理セミナー	本部職員	宮城労働局
H29.9.27	平成 29 年度 宮城県障害者	本部職員	独立行政法人高齢・障

	雇用支援のつどい		害・求職者支援機構
H29.10.2	平成 29 年度 仙台市社会福祉法人・施設職員研修事業ストレスチェック担当職員研修	本部職員	社会福祉法人仙台市社会福祉協議会
H29.10.5	介護報酬改定決起セミナー	事務局長	全国老人福祉施設協議会
H29.10.11	外国人技能実習制度における介護職種の追加に関する説明会	総務係長	全国社会福祉法人経営者協議会
H29.10.20	雇用・退職における実務	本部職員	仙台市雇用労働相談センター
H29.11.6	スクラムマネジメント経営者セミナー	総務課長	スクラムマネジメント
H29.8.29.30	平成 29 年度 障害者職業生活相談員資格認定講習	本部職員	独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構
H30.2.16	障害者雇用納付金制度事務説明会	本部職員	高齢・障害求職者雇用支援機構宮城支部

特別養護老人ホーム抱優館八乙女 事業実績報告

[事業報告]

特別養護老人ホーム抱優館八乙女は、28年度に引き続き、『挑戦型社会福祉法人』として地域を念頭に業務を進めることと、介護の質を上げることへのチャレンジを基本方針として業務執行に努めました。

- ① 月次収支実績や稼働率を意識し、入居待機から新規入居の流れをスムーズにすることや、適切な労働時間・業務管理と介護用品の在庫管理に努め、関係職種の連携を課題に財務基盤の安定を追求しました。結果、後に述べる稼働率の向上を実現し、職員の意識的な取り組みも目に見えてきており、委員会活動や各ユニットでの熱心な取り組みで、サービスの質の向上と経費の削減につながっており、引き続き取り組みを強化して行きます。
- ② 虐待や接遇の研修を全職員で取り組み、職員の業務への自覚的取り組み、質の向上を求めてきたところです。障害者雇用の促進により、業務の効率的な分ち合いと助け合いの良い刺激、気風の醸成による職員のスキルと資質の向上を図ることで、全体の質の向上を目指しました。特に、ユニットリーダーの業務責任と指導力の醸成を焦点に、職員の意見・要望把握に努めました。
- ③ 管理業務体制は、施設長職と事務長職、課長職、係長をはじめとした内部統制システムの整備と連携に努めてきました。この組織基盤の継続的安定化は今後も大きな課題です。
- ④ 入居者の安全確保は、感染症及び食中毒等について、厨房委託業者との連携、全職員参加の予防研修等により食中毒罹患者はゼロでした。その他感染症（インフルエンザ）は、長期、ショートとも単発に留まりました。発生、持ち込みの予防対策として、来館者に対するうがい、手洗い、マスク着用の推進、職員の体調不良者に対する対応等、感染症予防に自覚的取り組みをさらに進めて行きます。
- ⑤ 嘱託医に関しては、スムーズな業務引き継ぎが行われ、入居者の健康管理体制及び28年度からの、看取り体制も支障なく移行ができています。29年度に施設退所された方は28名、内看取り介護同意の方は13名でした。28年度末からの認知症の入居の方へのより良い医療・介護のサービス提供を厚くするための精神科クリニック医師による月2回の診察・指導も効果的に実施されています。
- ⑥ 稼働率については、介護保険改正による特養入居者の入居条件の厳格化などを克服するべく、長期・短期とも実調から入居の短縮に努めました。その結果、下記の通り、目標の長期97.0%を上回る98.1%の実績を上げることができました。

平成29年度の利用実績

[入居者の要介護度別年齢]

	要介護1	2	3	4	5	平均	
	年齢	年齢	年齢	年齢	年齢	介護度	年齢
男		63.13	84.32	87.27	87.05	3.9	85.80
女	85.13	77.04	91.75	89.22	89.26	4.0	89.18
計	85.13	75.65	90.02	88.80	89.00	3.9	88.56

☆最高齢者 105歳

[特別養護老人ホーム抱優館八乙女利用実績] 全80室 平均入居者 78.48人 稼働率 98.1%

月	平均入居者数	稼働率	月	平均入居者数	稼働率
4月	79.04人	98.8%	10月	79.52人	99.4%
5月	78.40人	98.0%	11月	78.56人	98.2%
6月	77.76人	97.2%	12月	77.76人	97.2%
7月	78.24人	97.8%	1月	78.64人	98.3%
8月	77.52人	96.9%	2月	78.08人	97.6%
9月	78.24人	97.8%	3月	79.52人	99.4%

(介護予防) 短期入所生活介護抱優館八乙女事業実績報告

[事業報告]

29年4月からの介護予防・日常生活自立支援総合事業の新設に伴い、通所系サービスの事業所倒産や事業撤退が目立っています。在宅でのケアのあり方が問われるところですが、利用者像の多様化と重度化が進行し、入居者に対応した介護職員のスキルアップとご利用者の希望に即ミスなく対応できる体制が強く求められました。短期入所生活介護部門(ショートケア)は、在宅の方が利用対象であり、地域のケアマネージャーなどとの連携が課題です。そのことを念頭に、「在宅支援」と位置付け、抱優館八乙女が地域福祉拠点として、地域包括ケアに果たす役割を担うこととしました。結果、平均稼働率は、高めに設定した目標の87%を実現しています。こうしたことは、今後の事業展望を明るくしており、職員の成長を背景に、ミスの無い信頼されるショートステイを構築したいと思えます。

[(介護予防) 短期入所生活介護抱優館八乙女利用実績]全20室

平均月延べ利用者数 529.4人 稼働率 87.0%

月	延べ利用者数	稼働率	月	延べ利用者数	稼働率
4月	544人	90.7%	10月	561人	90.5%
5月	570人	91.9%	11月	525人	87.5%
6月	559人	93.2%	12月	516人	83.2%
7月	527人	85.0%	1月	522人	84.2%
8月	546人	88.0%	2月	460人	82.1%
9月	510人	85.0%	3月	513人	82.7%

抱優館八乙女サービス提供実施状況

- ① 住まいづくり：各ユニットにおける生活環境の適正化に努めました。これまでのふれあい福祉作業による清掃に加え、ユニット内においては、特に障害者雇用及び生活困窮者の就労支援で受け入れた職員の働きで、環境整備に取り組み、厚みのあるケア体制作りを進めることができました。また安全衛生委員会を中心に環境チェックを実施し、環境美化に取り組みました。加えて、事務職員の当番制でのトイレや給湯室の定期清掃、マスク・手指消毒剤等の点検・整備に努め、環境美化と感染症予防に取り組みました。
- ② 安全・安心な美味しい食の提供：産直米・野菜と日清医療食品の協力、管理栄養士のミールラウンド及び嗜好調査、季節の料理提供等、安全で美味しい職の提供に努めました。
- ③ チームづくり：2度の職員面談やユニットリーダーとの個別面談、諸会議などを積み重ね、業務体制の見直し、良い介護を課題に業務課題の抽出をした結果、ユニット、フロア間の情報伝達や記録方法のデータ化等を図ることにより、業務全体の改善を図ることができました。また忘れ物や服薬ミス、転倒など職員のスキルに起因するミスの根絶を目指し、看護係と共に『服薬マニュアル』の点検と見直し、確認作業の徹底など、事故のない業務遂行を課題に取り組んでいます。抱優館八乙女も歴史の積み重ねと共に、結婚や出産をする職員が増加しつつあります。「女性のチカラを活かす企業」として働きやすい職場環境作りが具体的に求められます。
- ④ リスクマネジメント：リスクマネジメント委員会をはじめとする委員会設置とその活動は、年々、重要性を増しています。毎月の事故報告やヒヤリハット事例の検討と事前予防のための「フォーユーレポート」をもって、点検と対応に努めました。特に、誤薬・服薬ミスは入居者の健康維持上重要であることから、看護・介護に加え、嘱託医等の多・他職種との連携によって改善し、発生予防のために服薬マニュアルの再度の作成と研修を実施し、人的ミスの防止に努めました。
- ⑤ 人材採用・育成：介護現場において、もっとも重要なことは人材の採用と育成です。人的要因に起因するあらゆるリスクの発生防止に努めて取り組んできたところですが、面談や日常の指導において、特にリーダー層を中心に面談による課題抽出と配置転換と継続指導を実施し、自覚的取り組みと改善を行ってきました。結果として、より良い職場環境の醸成と自主的な職員活動が得られつつあるところですが、慢性的な看護職不足は、思い切った年度末の人事更新策によって、採用と定着が安定し、克服されています。また多くの介護施設が職員不足に喘ぐ中、新卒者の採用も順調と言えます。しかしながら全産業に及ぶ労働力不足に対応し、引き続き職員募集を行いながら、研修や介護マニュアルの徹底等によって、よりよい介護の実現に努めていきます。

抱優館八乙女各種委員会活動報告

●リスクマネジメント委員会

【構成メンバー】

施設長、生活支援課長、介護支援係長、生活相談支援係長、機能訓練指導員、管理栄養士、看護師、介護職員

【開催日】

月 1 回 (H29 年度 計 12 回)

【本年度の取り組み】

前年度作成した、服薬マニュアルと連動した「誤薬と禁食の」研修、「事例検討、応急処置について」の研修を開催。

「誤薬と禁食」

平成 29 年 7 月 20 日、8 月 3 日 計 2 回 (全職員対象)

「事例検討、応急処置について」

平成 30 年 1 月 15 日、1 月 31 日 計 2 回 (全職員対象)

●感染症予防対策委員会

【構成メンバー】

施設長、生活支援課長、介護支援係長、生活相談支援係長、機能訓練指導員、管理栄養士、看護師、介護職員

【開催日】

月 1 回 (H29 年度 計 12 回)

【本年度の取り組み】

前年度整備した、浴室・トイレ掃除マニュアルを基にマニュアル通り掃除が出来ているかのチェック表の作成

ノロウィルス、インフルエンザの予防研修

●身体拘束・虐待防止・ケア向上委員会

【構成メンバー】

施設長、生活支援課長、介護支援係長、生活相談支援係長、機能訓練指導員、管理栄養士、看護師、介護職員

【開催日】

月 1 回 (H29 年度 計 12 回)

【本年度の取り組み】

事例検討会を実施し、職員全体で情報共有を図った。

委員会内で各ユニットの困難事例に対して話し合う機会を設け、解決の糸口を見つけられた。

研修内で利用者の立場に立って、車いすや食事介助の体験を行った。

●栄養管理委員会

【構成メンバー】

施設長、管理栄養士、看護師、介護職員、

(受託先) 日清医療食品(株) エリアマネージャー、管理栄養士、調理師

【開催日】

月 1 回 (H29 年度 計 12 回)

【本年度の取り組み】

- ・ 毎月の行事食立案、実施、反省 (施設行事含む)
- ・ 実食 (試食会の開催) (水分補給ゼリー、栄養補助ゼリー)
実食により入居者の立場になり試食し今後の提供の方向性を決められた。
- ・ 食中毒予防とユニット衛生管理について
適温での提供や正しい配膳について委員会を通して改善することができた
- ・ 嗜好調査実施
委員が実際に嗜好調査を行い、普段入居者が食事に対してどう感じているかを直接伺うことができた。

●排泄・褥瘡予防委員会

【構成メンバー】

施設長、生活支援課長、生活相談支援係長、管理栄養士、看護師、介護職員

【開催日】

月 1 回 (H29 年度 計 12 回)

【本年度の取り組み】

- ・ 排泄マニュアルの完成
- ・ おむつの当て方研修の実施 (メーカーのフィッターによる指導)
ユニットリーダーにも改めて研修を実施し、職員、施設全体として正しい当て方、使い方について学んだ。
- ・ 施設利用者の褥瘡の実情の報告会を実施し、職員間、ユニット間での情報の共有を実施。
- ・ 委員会メンバーにておむつ類の在庫チェックを行い、在庫管理に努めた。

●行事企画・広報委員会

【構成メンバー】

施設長（防火管理者）、生活支援課職員、総務課職員、看護師、介護職員

【開催日】

月 1 回（H29 年度 計 12 回）

【本年度の取り組み】

外部団体による催し物の開催、季節行事の実施及び季節飾りの展示、クラブ活動の運営、施設職員による演芸会の開催、ニュースレターの発行・送付を実施。下記参照

月	行事・広報	企画内容	活動内容
4 月	・第 1 回クラブ活動	・ゲーム倶楽部 (テーブル・リング・トランプ 等) ・五月人形の展示	・年間目的・目標、年間活動計画作成 ・各行事の実行委員選出 ・榴ヶ岡高校音楽部演奏会実施計画作成 ・クラブ活動 1・2 計画協議・作成
5 月	・榴ヶ岡高校音楽部演奏会	・高校生による合唱、演奏	・納涼祭実施計画協議 ・クラブ活動 2 計画作成 ・五月人形の撤去 ・七夕お茶会実施計画協議 ・年間目的・目標、年間活動計画の決定 ・ファッションショー実施計画作成
6 月	・出張デパート ・ファッションショー ・第 2 回クラブ活動	・地域交流ホールで入居者様買物 ・女性入居者様モデルのショー ・玉入れ大会	・七夕お茶会実施計画作成 ・納涼祭実施計画（案）作成 ・敬老会実施計画書協議
7 月	・七夕お茶会 ・ライジングサン演奏会	・お茶会、七夕短冊飾り付け 七夕飾り設置（笹切出し） ・音楽演奏会	・ライジングサン演奏会実施 計画協議・作成 ・納涼祭実施計画作成 ・敬老会実施計画（案）作成 ・ニュースレター 13 号作成計画協議
8 月	・納涼祭	・菊泉会民謡演奏（午前の部） 出店、花火鑑賞（午後の部）	・敬老会実施計画作成 ・ニュースレター 13 号作成 ・クラブ活動 3 計画協議 ・七夕お茶会の反省
9 月	・敬老会 ・八乙女中よさこい・茶話会 ・ニュースレター 13 号作成	・AM 式典 PM 子供三味線演奏会 ・よさこい演舞・茶話会 ・ニュースレター 13 号作成・送付 (9/15 請求書に同封)	・クリスマス浅野祥三味線演奏会実施計画書協議 ※マネージャーとの連絡 ・クラブ活動 3 計画作成 ・納涼祭の反省 ・明星会講演会実施計画協議・作成 ・ニュースレター 13 号進捗状況確認

10月	<ul style="list-style-type: none"> ・第3回クラブ活動 ・明星会公演会 ・ハロウィン企画 	<ul style="list-style-type: none"> ・立体表札作り ・日本舞踊・マジックの公演 ・保育園の園児が来館し「お菓子ちょうだい」 	<ul style="list-style-type: none"> ・浅野祥三味線演奏会 実施計画書(案)作成 ・餅つき実施計画協議 ・クラブ活動4計画作成 ・敬老会の反省
11月	<ul style="list-style-type: none"> ・第4回クラブ活動 ・出張デパート 	<ul style="list-style-type: none"> ・映画鑑賞(チャップリン・漫談) ・地域交流ホールで入居者様買物 	<ul style="list-style-type: none"> ・浅野祥三味線演奏会実施計画書作成 ・餅つき実施計画作成
12月	<ul style="list-style-type: none"> ・クリスマス三味線演奏会 ・餅つき 	<ul style="list-style-type: none"> ・浅野祥三味線演奏会 ・餅つき、鏡餅作成 ・クリスマスツリーの展示 	<ul style="list-style-type: none"> ・クリスマスツリー設置(委員会終了後) ・クラブ活動5計画作成 ・クリスマスツリー撤去(12/27で実施)
1月	<ul style="list-style-type: none"> ・第5回クラブ活動 	<ul style="list-style-type: none"> ・施設職員による新春演芸会(踊り・二人羽織・歌等) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ニュースレター14号作成計画協議 ・三味線演奏会、餅つき大会の反省 ・八乙女中学校よさこい・茶話会実施計画作成
2月	<ul style="list-style-type: none"> ※八乙女中よさこい・茶話会は中止となる 	<ul style="list-style-type: none"> ・ひな人形の展示 	<ul style="list-style-type: none"> ・ひな人形の設置(委員会終了後) ・クラブ活動6計画作成 ・ニュースレター14号作成 ・クラブ活動5新春演芸会の反省
3月	<ul style="list-style-type: none"> ・ニュースレター14号作成 ・第6回クラブ活動 	<ul style="list-style-type: none"> ・ニュースレター14号作成・送付(3/15請求書に同封) ・フラワーアレンジメント(生け花)(6丁目・5丁目のみ) ・ひな人形の展示 	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度の反省(用紙の回収) ・ニュースレター14号進捗状況確認 ・ひな人形の撤去(委員会終了後) ※議事録とは別に委員長が事業報告書作成
毎月	<ul style="list-style-type: none"> ユニット行事予定の掲示 フロアー交替制 	<ul style="list-style-type: none"> 1階エレベーター横に翌月分を月末までに掲示 	<ul style="list-style-type: none"> ・各ユニットは翌月行事予定を毎月20日までに実行委員に提出し、月ごとの実行委員が掲示する。

各行事・広報活動について実行委員制が定着し、実行委員長が中心となり予定通りの運営が出来た。クラブ活動の頻度・バリエーションが増え、任意参加ではあったが多数のご参加があった。また新春演芸会やファッションショー等の新しい企画を多数取り入れ、入居者様に楽しんで頂けたと思う。

全体的には大きな事故やトラブルもなく概ね計画通りの運営が出来た。

●安全衛生委員会

【構成メンバー】

施設長（防火管理者）、生活支援課職員、総務課職員、看護師、介護職員

【開催日】

月 1 回（H29 年度 計 12 回）

【本年度の取り組み】

本年度は、前年度まであまり行われてこなかった、労働環境の整備に重点をおいて、職員間での様々な取り組みを行った。

・空気清浄機の清掃及びメンテナンスの実施

専用の物があると作業がしやすいとの要望があり、たらい・ポット洗浄剤を各フロアーに準備。
実施後フィルターから多くのカルシウムが除去されたとの意見あり

・エアコン清掃及びメンテナンスの実施

手が回らないとの意見が聞かれ、委員会の時間内にフロアーごとに清掃にできる限りの箇所の清掃を実施。更衣室のエアコンの汚れ等共用スペースでの作業もなされている。

・4 S パトロールの実施

各ユニットを回することで、他のフロアーがどのように4 Sが実施されているのか。又置き場所の改善、重量物の置き場所などについての課題が見えてきている。

・室温度管理の実施

全館通しての湿度の状態及び温度の管理について現状が把握しやすくなる。但し報告がなされていないフロアーもあった為、来年度の課題となる。全体的に乾燥状態であるなど改善点が明白となる。

・各階共用スペース、介材室、倉庫等の使用状況調べ

汚物室等の消耗品の置き場所を統一しスペースを確保することにより、直接フロアーに消耗品を納入できないか。又、長年使用することにより増えたユニット毎の備品の保管場所を考えていく足掛かりとして実施したが、他の委員会との兼ね合いもあり状況調べの段階で終了している。

●防災対策委員会

【構成メンバー】

施設長（防火管理者）、生活支援課職員、総務課職員、看護師、介護職員

【開催日】

月 1 回（H29 年度 計 12 回）

【本年度の取り組み】

防災訓練を 2 回開催。自主訓練ではレスキューシート、車椅子での避難を中心とした訓練を実施。

委員会活動としてマニュアルの作成、見直し、施設の設備、構造を知るため厨房ピット内見学、レスキューシートの体験等、今まで出来なかった事に取り組む事ができた。

抱優館八乙女各種各種外部研修・行政等主催研修参加状況

日時	研修名	参加者	主催
H29.4.16	向原町内会総会	地域相談支援係長	向原町内会
H29.4.20	平成 29 年度 総会	施設長	仙台市老人福祉施設協議会
H29.4.28	平成 29 年度 介護実習指導者打合せ会	生活支援課長 生活相談支援係長	仙台医療福祉専門学校
H29.5.11	平成 29 年度 東北ブロック老人福祉施設大会	施設長 生活支援課長 生活相談員 総務係長	東北ブロック老人福祉施設協議会
H29.5.17	平成 29 年度 介護職員合同入職式	介護員	宮城県介護人材確保協議会
H29.5.21	モビバンインストラクター養成講習	機能訓練指導員	株式会社エムアンドエル
H29.5.29	平成 29 年度 OJT 指導者研修	介護員	宮城県社会福祉協議会
H29.5.30	平成 29 年度 介護サービス事業者 集団指導	施設長	仙台市
H29.6.15	看護職員のための伝達研修会	看護係長	仙台市社会福祉協議会
H29.6.17	平成 29 年度 宮城 ICN ネットワーク講演会	看護係長	宮城 ICN ネットワーク
H29.6.19	平成 29 年度 宮城県社会福祉施設「新任職員研修」1 班 (2 日間)	介護員	社会福祉法人社会福祉協議会
H29.6.19	要介護（要支援）認定調査に係る介護認定調査員新任研修	生活相談支援係長	仙台市健康福祉局
H29.6.21	平成 29 年度 第 1 回八乙女地域包括ケア会議	地域相談支援係長	八乙女地域包括支援センター
H29.6.27	平成 29 年度 泉区管内給食施設従事者研修会	管理栄養士	仙台市保健所
H29.7.5	認知症の医学知識	介護員	公益財団法人仙台市健康福祉事業団
H29.7.7	平成 29 年度 ボランティア	地域相談支援係長	社会福祉法人宮城県社会福祉協議会

	コーディネーター研修会		
H29.7.21	第21回 地域医療ネットワークカンファレンス フルリール会	看護師 介護員	仙台オープン病院
H29.7.26	平成29年度 第1回「栄養士研修会」	管理栄養士	
H29.7.28	平成29年度 泉区障害者自立支援協会研修会	施設長	泉区障害高齢課
H29.8.3	介護に役立つ口腔ケアの基礎知識	介護員	仙台市健康福祉事業団介護研修室
H29.8.24	看取り期及び死後のグリーフケア基礎研修	介護支援係長	お茶の水ケアサービス学院
H29.9.4	福祉サービスの苦情解決に関する研修	生活相談員	宮城県社会福祉協議会
H29.9.5	介護事業所の為のチームワーク向上セミナー	生活支援課長	お茶の水ケアサービス学院
H29.10.4	排便ケアセミナー	看護師 介護員	太陽化学株式会社
H29.10.5	第18回 介護保険推進全国サミット IN 岩沼	施設長 地域相談支援係長	
H29.10.10	平成29年度 宮城県社会福祉施設職員「コミュニケーション技術・対人援助技術研修会」	生活相談員	社会福祉法人宮城県社会福祉協議会
H29.10.19	Date Care IN 仙台 2017	介護員	仙台市介護保険課
H29.10.30	嚥下食セミナー	管理栄養士	ニュートリー株式会社
H29.11.22	介護事業所経営者向けセミナー	生活支援課長	宮城県保健福祉部長寿社会政策課
H29.12.1	介護サービスの質向上に関する市町村担当者、事業所管理者等研修会	施設長	宮城県国民健康保険団体連合会
H29.12.1	平成29年度 第2回 仙台市老人福祉施設協議会泉支部会議	施設長 地域相談支援係長	仙台市老人福祉施設協議会
H29.8.28.29	高齢者施設で働く看護職員の研修	看護師 介護員	宮城県看護協会

	平成 29 年度 宮城県喀痰吸引等研修事業 基本研修	介護員	宮城県社会福祉協議会
H30.1.9	認知症実践者研修	介護員	公益財団法人仙台市健康福祉事業団
H29.2.1	精神疾患の医学知識	介護員	公益財団法人仙台市健康福祉事業団
H29.12.14	平成 29 年度 仙台市社会福祉法人・施設職員研修事業 中堅職員研修	介護員	社会福祉法人仙台市
H29.12.4	3K から 5K の介護へ！ 隆生福祉会の奇跡	生活支援課長 総務係長	公益財団法人介護労働安定センター
H30.1.17	介護事業場等を対象とする 労務管理セミナー	介護員	
H30.2.3	平成 29 年度 仙台黒川支部 看護管理者ネットワーク会議	看護係長	公益財団法人宮城県看護協会
H30.2.21	平成 29 年度 情報交換会(ショートステイ・居宅)	生活相談支援係長 介護員	仙台市社会福祉協議会
H30.1.22	福祉施設栄養士研修	管理栄養士	仙台市
H30.3.14	平成 29 年度 職員研修「介護保険制度改正のポイント」	生活相談支援係長	仙台市老人福祉施設協議会
H30.3.7	平成 30 年度 介護保険制度改正に係る説明会の開催	生活支援課長 地域相談支援係長 介護支援係長 介護支援専門員	仙台市
H30.3.1	平成 29 年度 第 2 回 施設長研修会	施設長	仙台市老人福祉施設協議会
H30.3.5	ユニットケア研修フォーラム	施設長 生活支援課長 生活相談員 介護員	日本ユニットケア推進センター

地域密着型特別養護老人ホーム抱優館南光台東 事業報告

30年4月開所を目途に準備を進めました。具体的には、職員の準備委員会の立ち上げによる①基本構想を描き、設計・施工に反映していくことやバス、ベッド、介護用品など設備・備品の選定 ②職員体制の構築で、異動・採用による介護スタッフをはじめとする人員確保・研修です。

結果、職員の自主的管理意識と責任の醸成につながり、総務係長、生活相談係長等に加え、開所を見越して採用された相談員、看護師、介護業務の経験者と新卒者ケアスタッフ等が一体となってスムーズな開所を迎えることができました。

ケアプランセンター抱優 事業実績報告

[事業報告]

事業開始2年目を迎え、事業所としてまた法人として新たな可能性を模索するため、平成29年5月1日から、法人内の障害者就労移行支援事業所オルタ八乙女の事業所内に事務所を移転。地域包括ケアまた、共生社会の実現に向け、関係各機関との連携を深めるきっかけにと考えた。

事業実績としては、地域包括支援センターならびに病院等からの紹介を受け、新規相談から利用実績に結びついた介護の件数は40件、月平均で3件という実績であった。しかしながら、病状により、お亡くなりになられたり、その他本人、家族の意向から施設入居等となった方、心身状態が改善して要支援認定となった方等が30名程度あり、年度末での担当利用者数としては、担当可能件数の70件を下回る結果となった。今年度関わった利用者で、法人の施設へ入居、入居予定の方は、9名となっている。また、平成30年1月30日に、仙台市のケアプラン適正化事業の実施がありケアプランの質の向上を図った。

来年度へ向け、今年度以上の紹介を得られるように、各関係機関との連携を強化していく。具体的には、関係各機関の開催する事例検討会、学習会への積極的な参加、また、地域、関係各機関の信頼を得られるケアマネジメントを実施し、アピールしていく。地域の方から事業所へ直接のご相談も見られた。地域の方への直接の働きかけも工夫していきたい。

新年度に向け、事業所が地域住民に認知され、信頼されるような取組みを関係各機関、法人の理解を得ながら、今後とも継続していきたい。

[要介護度別請求実績]

	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	合計	要支援	実績合計	介護新規
4月	18	9	3	5	0	35	10	45	2
5月	17	11	2	4	1	35	12	47	4
6月	17	12	4	6	0	39	13	52	6
7月	20	12	2	7	0	41	15	56	3
8月	19	12	1	7	1	40	15	55	3
9月	21	10	1	7	2	41	14	55	0
10月	21	10	1	9	2	43	14	57	2
11月	23	10	4	9	2	48	15	63	6
12月	26	11	3	7	3	50	14	64	5
1月	26	9	6	5	2	48	15	63	3
2月	28	7	7	5	1	48	16	64	2
3月	25	9	6	5	1	46	17	63	4

[各種外部研修・行政等主催研修参加状況]

受講月日	会議・研修名	実施主体
4月13日	虹の丘地域包括 ケアマネ学習会	虹の丘地域包括支援センター
4月14日	虹の丘学習会	虹の丘地域包括支援センター
4月18日	八乙女地域包括ネットワーク会議	八乙女地域包括支援センター
4月21日	男性介護者の会「ヤオトメンズ」	八乙女地域包括支援センター
5月19日	南中山ホットカフェ	南中山地域包括支援センター
5月19日	男性介護者の会「ヤオトメンズ」	八乙女地域包括支援センター
5月24日	ケアマネサロン	八乙女地域包括支援センター
6月9日	平成29年度第1回かいごの「いろは」講座	社会福祉法人 虹の会
6月13日	平成29年度指定居宅介護支援事業所集団指導	仙台市
6月13日	第1回居宅介護支援専門事業所等 介護支援専門員研修会	仙台市
6月16日	男性介護者の会「ヤオトメンズ」	八乙女地域包括支援センター
6月21日	八乙女地域包括ケア会議	八乙女地域包括支援センター
6月22日	課外講座ふたば	双葉ヶ丘地域包括支援センター
7月8日	認知症と生きる人の自己決定支援を考える	宮城の認知症をともに考える会
7月12日	第2回居宅介護支援専門事業所等 介護支援専門員研修会	仙台市
7月14日	ケアマネジャー交流会	南光台地域包括支援センター
7月20日	ケアマネサロン	八乙女地域包括支援センター
7月21日	男性介護者の会「ヤオトメンズ」	八乙女地域包括支援センター
7月25日	なないろカフェ	虹の丘地域包括支援センター
8月22日	地域ネットワーク会議	八乙女地域包括支援センター
8月26日	東北ブロック研修非薬物療法	認知症介護者ネットワーク
8月31日	福祉関係者のための成年後見活用講座	宮城県社会福祉士会
9月8日	虹の丘地域包括 ケアマネ学習会	虹の丘地域包括支援センター
9月26日	第3回居宅介護支援専門事業所等 介護支援専門員研修会	仙台市
9月26日	八乙女地域包括ケア会議	八乙女地域包括支援センター
10月5日	虹の丘地域包括 介護予防教室	虹の丘地域包括支援センター
10月6日	なないろカフェ	虹の丘地域包括支援センター
10月1日	平成29年度ケアマネジメント研修会	仙台市
10月26日	重度障害者コミュニケーション支援 スキルアップ研修	仙台市障害者総合支援センター
11月1日	見守りネットワーク・虐待防止	南中山地域包括支援センター

	ネットワーク連絡会	
11月9日	認知症サポーター養成講座	河北新報社
11月16日	第2回 課外講座ふたば	双葉ヶ丘地域包括支援センター
11月17日	男性介護者の会「ヤオトメンズ」	八乙女地域包括支援センター
11月21日	八乙女地域包括ネットワーク会議	八乙女地域包括支援センター
11月22日	ケアマネサロン	八乙女地域包括支援センター
11月29日	認知症サポーター養成講座	泉中央老人福祉センター
1月18日	南中山地域包括学習会	南中山地域包括支援センター
1月23日	ケアマネサロン	八乙女地域包括支援センター
1月25日	なないろカフェ	虹の丘地域包括支援センター
1月31日	南光台地域包括 ケアマネジャー交流会	南光台地域包括支援センター
2月6日	双葉ヶ丘学習会	双葉ヶ丘地域包括支援センター
2月14日	第4回居宅介護支援専門事業所等 介護支援専門員研修会	仙台市
2月16日	男性介護者の会「ヤオトメンズ」	八乙女地域包括支援センター
2月28日	八乙女包括ケア会議	八乙女地域包括支援センター
3月13日	仙台市介護保険説明会	仙台市

やまとみらい八乙女保育園 事業実績報告

【事業報告】

平成29年度は0歳児4名、1歳児7名、2歳児8名 計19名の定員を満たしてのスタートとなっている。5月末に0歳児1名が退園し一ヶ月半定員割れの状況が続いたが、7月中旬以降は0歳児1名、1歳児1名、2歳児1名の退園児が出たものの、すぐに新入园児が決まり定員を割ることなく安定した運営となる。退園理由は県外への引っ越しが3名、職場にある事業所内保育園への移行が1名であった。

保育内容においては、保育環境の見直しを行い、日当たりが良すぎる保育室には日よけシェードを取り付け直射日光による室温上昇を防ぎ、各保育室に扇風機・大型加湿器・次亜塩素酸入り噴霧器等を使用し、感染症に考慮し乳児に適した室内環境を整備した。一年を通して大きな事故や怪我、感染症の拡大なく終えることができた。

平成29年度卒園児8名の進路は、3名が認可保育所、4名が幼稚園、1名が発達支援センターへの母子通園への入園が決まる。連携施設のそらの子保育園への入園希望者はなく、今後は保護者のニーズに合わせた連携施設の確保に取り組んでいく。

【やまとみらい八乙女保育園利用実績】

定員 19名

月	入园児数			退园児数			合計
	0歳児	1歳児	2歳児	0歳児	1歳児	2歳児	
4月	4	7	8	0	0	0	19名
5月	4	7	8	1	0	0	19名
6月	3	7	8	0	0	1	18名
7月	4	7	8	0	0	0	19名
8月	4	7	8	0	0	0	19名
9月	4	7	8	0	0	0	19名
10月	4	7	8	1	0	0	19名
11月	4	7	8	0	0	0	19名
12月	4	7	8	0	0	0	19名
1月	4	7	8	0	0	0	19名
2月	4	7	8	0	1	0	19名
3月	4	7	8	0	0	0	19名

【各種会議開催状況】

保育園全体の連携や各職種連携のため次の会議を開催し、業務の改善を図った。

会議名	議題	開催日	構成メンバー
管理者会議	現状報告、情報連絡、 課題提起・検討、収支 報告	4/7、5/15、6/15、7/14、 8/18、9/8、10/19、11/17、 12/8、1/12、3/9	理事長、事務局長、 総務課長、総務係 長、各事業管理者
職員会議	保育・給食状況報告、 行事反省、次月予定、 課題提起・検討、情報・ 意識の共有	4/6、5/11、6/6、7/7、8/1、 9/7、10/3、11/2、12/1、 1/5、2/2、3/2	園長、保育士、保 育従事者、栄養士、 調理員
クラス会議 (ほし組)	クラス状況、情報交換 ケース対応把握	4/17、5/17、6/16、7/20、 8/21、9/20、10/23、11/20、 12/20	ほし担任保育士 パート保育士
クラス会議 (つき組)	クラス状況、情報交換 ケース対応把握	4/21、5/22、6/14、7/19、 8/25、9/21、10/26、11/21、 12/19	つき担任保育士 パート保育士
クラス会議 (そら組)	クラス状況、情報交換 ケース対応把握	4/19、5/18、6/15、7/17、 8/22、9/25、10/27、11/17、 12/21	そら担任保育士 パート保育士
給食会議	現状報告、情報連絡、 課題提起・検討	4/25、5/25、6/12、7/25、 8/22、9/25、10/12、11/16 12/15、1/12、2/15、3/23	園長、栄養士、調 理員

【各種外部会議・行政主催研修参加状況】

保育のスキルアップや情報交換、小規模保育制度の理解を深めるため、以下の研修等に参加した。

開催日	名称	参加者	主催者
5/26	施設長研修	園長	仙台市子供未来局
6/2	1.2歳児研修	保育士	仙台市子供未来局
6/26	乳児保育研修	保育士	仙台市子供未来局
7/4	赤十字 AED・乳児救命救急講習	全職員	日本赤十字社
7/14	初任保育士研修	保育士	宮城県保育協議会
7/19	乳児保育研修	保育士	仙台市子供未来局
7/18	栄養士研修	栄養士	仙台市子供未来局
7/27	障害児研修	保育士	仙台市子供未来局
9/12	第17回保育従事者並びに 保育所嘱託医研修会	園長	仙台市医師会
9/13	施設長研修	園長	仙台市子供未来局
9/21	第6回子どもの食物アレルギー 講習会	保育士	仙台市泉区保健センター

9/27	マネージメント研修	保育士	仙台市子供未来局
10/17	保育所保育指針の改定に ついての研修会	保育士	仙台市子供未来局
11/1	調理担当者研修	栄養士	仙台市子供未来局
11/7	部会保育士研修	保育士	宮城県保育協議会
11/17	中堅保育士研修	保育士	宮城県保育協議会
2/1	保育所施設長研修	園長	一般社団法人 宮城県保育協議会
3/14	施設長会議	園長	仙台市子供未来局

就労移行支援事業所オルタ八乙女 事業実績報告

[事業報告]

オルタ八乙女は、一昨年5月に障害者の就労移行支援事業所としてスタートをきり、まもなく2年となる。この2年で職員体制を固めながら、法人内部および各関係機関との連携、利用者獲得等、事業運営に係る様々な課題の整備に努めてきた。

私どもが障害者就労支援の核心と考える「カスタマイズ就業支援（障害のある方の特性や強みを生かした個別支援と、雇用する事業所とのマッチングの徹底、事業主支援など）」の実践にあたっては、個に応じた支援方法を職員全員で検討しつつ、日々の訓練で実践を重ねてきた。また、その取り組みを各支援機関に丁寧にお伝えする活動を地道に積み重ねてきた結果、オルタ八乙女への問い合わせや見学依頼の増加につながった。

平成29年度の就職実績は4名で、半数の方が職場定着できている。また、利用契約者も3月時点で17名となった他、契約予定者も控えており、今後も「利用者様の夢（就労）の実現に向けたサポート」と「就労された方の安定就労に向けたサポート」の双方を丁寧に行い、事業の安定運営に努めます。

[オルタ八乙女利用実績]

定員 20名

月	利用者数		
	契約者数	新規	退所
	H29		
4月	8名	2名	0名
5月	9名	1名	0名
6月	8名	1名	2名（内：就職1名）
7月	8名	0名	0名
8月	8名	1名	1名（就職）
9月	8名	0名	0名
10月	16名	3名 + （就労アセスメント6名）	1名（就職）
11月	10名	1名	1名 + （就労アセスメント6名）
12月	13名	3名	0名
1月	15名	2名	0名
2月	15名	0名	0名
3月	16名	2名 + （就労アセスメント1名）	2名（内：就職1名） + （就労アセスメント1名）

[各種会議開催状況]

外部会議・研修

	研 修 内 容	主 催
5/13	ひきこもり講演会	仙台市精神保健福祉総合センター
6/22	第1回就労移行支援事業所等連絡会議	仙台市障害者就労支援センター
10/4	第2回就労移行支援事業所等連絡会議	仙台市障害者就労支援センター
11/9	高校情報交換会	北部アーチル
12/5	宮城県全域フォーラム	アデコ(株)
12/9	アーチル発達障害基礎講座	北部アーチル
12/21	第3回就労移行支援事業所等連絡会議	仙台市障害者就労支援センター
1/10	障害者の虐待及び差別解消のための権利擁護に関する研修会	仙台市健康福祉局
1/22	法定雇用率引き上げに備える障害者雇用促進セミナー	宮城県障害者雇用アシスト事業
1/25	農福連携推進東北ブロックシンポジウム	東北農政局
1/27	東北福祉大学メンタルヘルスプロモーションセンター： 仙台市民公開フォーラム	仙台スピーカーズ ビューロー事務局
2/15	高校情報交換会	北部アーチル

所内研修

	研修内容	出席者
6/23	防災研修	職員全員
8/23	苦情対応研修	職員全員
11/29	記録の書き方研修	職員全員
12/28	ひやりはっと研修	職員全員
2/7	障害者の権利擁護研修	職員全員

外部企画行事

	企 画	主 催
7/7	仙台市障害福祉事業所合同説明会	仙台市障害福祉事業所 合同説明会実行委員会
9/15	ふれあいワークフェア	宮城労働局
12/13	障害者就労支援機関 EXPO「就労支援機関による 事業所向け情報交換会」	宮城労働局

内部会議

会議名	議 題	開催日	構成メンバー
ケース共有	訓練状況、利用者の情報共有および対応の検討 業務連絡、翌日の予定の確認	毎日 17:30～18:00	全職員

ミーティング	カリキュラム内容の調整、運営、 役割分担、日程調整 ・支援方法、情報、意識の摺合せ	毎週（水） 15:00～17:00	全職員
職員会議	・当月（翌月）の予定 ・計画に対する進捗の摺合せおよび課題検討	毎週（水） 15:00～18:00	全職員